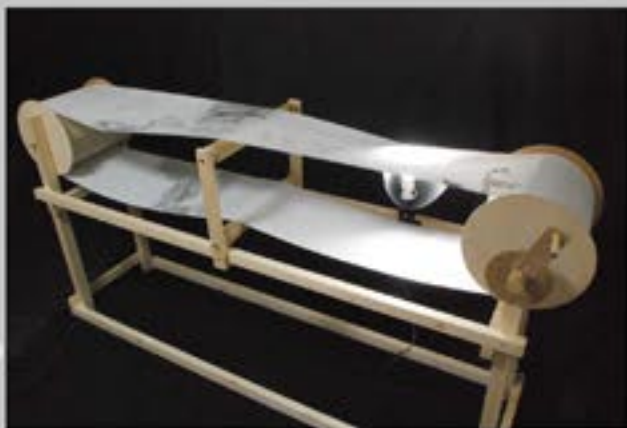


影の考察

影広場とする架空の場に設置された造形作品を鑑賞します。これらを巡り周辺に拡散した影にまつわる言葉をたどりながら、考察を広げる時間を楽しんでいただきます。

しび塔



活動サンプル20 白カラス (2025)

『超獣戯画 野性の立場』2023年の装置に、新しく内容を作り変えた。浅川マキの歌「翔べないカラス」詩 貞崎守に発端されたもの。マイノリティの苦悩が一匹の白カラスとして描かれている。影の存在を意識したカラスはいつかは黒くなれるのだろうか。



活動サンプル18 プラグは見ていた (2025)

20倍に拡大したコンセントに差し込まれたプラグ。近づくるとプラグが光り影を映し出す。ロボットアームが一匹のネズミを捕まえている。裏には仲間のネズミたちが駆け寄り助けるシーンが浮かび上がる。



活動サンプル22 労働する影たち (2025)



活動サンプル15 集合と解散 明日は別の電車に乗る (2023)

廃棄したプリンターの部品を10倍に拡大して組み立てた。表には工場に出勤する人々の列、裏には退社する人々を影として表した。



活動サンプル21 逆転するテーブル上の光景 (2025)

白テーブルの上のグレーな立体物。その影だけがカラー。実物と影の関係が逆転した作品。



活動サンプル17 像化する僕のアップデート (2024)

一人の若い営業マンが1枚1枚貼り合わさって立体を成している。先端部分が剥がれかけ、前方の白いパネルに影が浮かび上がる。



活動サンプル19 パワーハラスメント I (2025)

横長の白いパネルが床に設置され、影が浮かび上がる。工場内で起こる不合理な「パワハラ」。これは実際に作家の体験によるもの。